

香取市

男女共同参画に関する市民意識調査

【ご協力のお願い】

市民の皆様には、日頃から市政にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

香取市では、一人ひとりが持っている個性や能力をのびのびと発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、平成 22 年に香取市男女共同参画計画を策定し、さまざまな取り組みを進めています。

このたび、この計画の期間が終了するにあたり、市民の皆様の男女共同参画に関する意識や実態を把握し、今後の計画や施策に反映させることを目的として調査を実施することといたしました。

今回の調査は、市内にお住まいの 20 歳以上の方の中から、2,000 人を無作為に抽出し実施するものです。

回答は無記名で、ご回答いただきました内容はすべて一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、回答の内容が外部に漏れることはございません。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年 5 月

香取市

◆ご記入についてのお願い◆

- 宛名のご本人にご回答をお願いします。
- お答えは、あてはまる番号を○で囲んでください。質問によって、○をつける数を指定しておりますので、その範囲内で記入してください。
- 「その他」をお選びになった場合は、() 内に具体的な内容を記入してください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
6月14日（金）までに郵便ポストへ投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは、下記をお願いいたします。

<お問い合わせ>

香取市役所 生活経済部 市民協働課 人権・市民相談班

〒287-8501 香取市佐原口 2127 番地

T E L : 0478-54-1138（直通）

E-mail : jinken@city.katori.lg.jp



はじめに、あなた自身についてうかがいます

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性

2. 女性

問2 あなたは現在おいくつですか。(1つに○)

1. 20～24 歳

4. 35～39 歳

7. 50～54 歳

10. 65～69 歳

2. 25～29 歳

5. 40～44 歳

8. 55～59 歳

11. 70～74 歳

3. 30～34 歳

6. 45～49 歳

9. 60～64 歳

12. 75 歳以上

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

1. 佐原地区

2. 小見川地区

3. 山田地区

4. 栗源地区

問4 あなたの世帯は次のどれに該当しますか。(1つに○)

1. ひとり暮らし(単身世帯)

4. 親と子ども夫婦(二世帯世帯)

2. 夫婦のみ(一世帯世帯)

5. 親と子どもと孫(三世帯世帯)

3. 親と未婚の子ども(核家族)

6. その他()

問5 あなたの婚姻関係(事実婚を含む)はどれに該当しますか。(1つに○)

1. 結婚している(事実婚を含む)

3. 未婚

2. 結婚していたが死別・離別した

問6 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

男女平等についてうかがいます

問7 あなたは、次の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(①～⑧それぞれ1つに○)

	男性の方が 非常に優遇され ている	どちらかといえ ば男性の方が優 遇されている	平等である	どちらかといえ ば女性の方が優 遇されている	女性の方が 非常に優遇され ている	どちらともいえ ない
① 家庭の中で	1	2	3	4	5	6
② 職場の中で	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑤ 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念や慣習で	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問8 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何でしょうか。(1つに○)

1. 法律や制度の上での見直しを行い、男性と女性によって扱いが異なり、不平等につながるものを改めること
2. 男はこうあるべき、女はこうあるべきといった固定的な見方や社会通念、慣習、しきたりを改めること
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に能力の向上を図ること
4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
5. 行政や企業等の重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. 一人ひとりの個性や人格が尊重されること
7. わからない
8. その他 ()

問9 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. どちらともいえない |
|---------|-----------|--------------|

家庭生活についてうかがいます

※問5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」を選択した方にうかがいます。

問10 あなたの家庭では現在、①～⑨のことは日常どなたが担当していますか。（①～⑨それぞれ1つに○）

※「その他の人」にはボランティア、ホームヘルパー、家政婦等の各種家事代行委託業等も含まれます。

	夫 (男性)	妻 (女性)	夫婦 同程度	子ども	家族 全員	その他の 人	該当なし わからない・
① 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	7
② 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7
③ 掃除	1	2	3	4	5	6	7
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 食料品・日用品の買物	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 育児（乳幼児・子どもの世話）	1	2	3	4	5	6	7
⑧ 子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 高齢者の世話（介護）	1	2	3	4	5	6	7

※すべての方にうかがいます。

問11 あなたの家庭では理想として、①～⑨のことは日常どなたに担当してほしいと思いますか。（①～⑨それぞれ1つに○）

	夫 (男性)	妻 (女性)	夫婦 同程度	子ども	家族 全員	その他の 人	該当なし わからない・
① 食事のしたく	1	2	3	4	5	6	7
② 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7
③ 掃除	1	2	3	4	5	6	7
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6	7
⑤ 食料品・日用品の買物	1	2	3	4	5	6	7
⑥ 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	5	6	7
⑦ 育児（乳幼児・子どもの世話）	1	2	3	4	5	6	7
⑧ 子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6	7
⑨ 高齢者の世話（介護）	1	2	3	4	5	6	7

問 12 あなたは、「仕事」との関係において、「家庭生活」や地域活動・学習・趣味・付き合い等の「地域・個人の生活」をどのように位置づけるのが望ましいと思いますか。(1つに○)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない
9. その他 ()

問 12-1 それでは、あなたの現状に最も近いものをお答えください。(1つに○)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない
9. その他 ()

問 13 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 男性が家事等に参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事等に参加することに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 夫婦それぞれによって役割分担等の考え方が違うことを理解し、その考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体等の研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立等の問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
11. 特に必要なことはない
12. その他 ()

仕事についてうかがいます

--

※問 14 で「1～11」を選択した方にうかがいます。

問 14-1 あなたの勤務形態はどれですか。(1 つに○)

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. 常勤（フルタイム） | 2. パートタイム（パート、アルバイト、嘱託その他） |
|--------------|----------------------------|

※問5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」を選択した方にうかがいます。

--

※問 14-2 で「1～11」を選択した方にうかがいます。

問 14-3 あなたの配偶者の勤務形態はどれですか。(1 つに○)

- | | |
|--------------|----------------------------|
| 1. 常勤（フルタイム） | 2. パートタイム（パート、アルバイト、嘱託その他） |
|--------------|----------------------------|

■問 14、問 14-2 の選択肢

自営業主	1. 農林漁業（農業、林業、畜産業、漁業等の自営主） 2. 商工サービス業（商店、飲食店、理髪店、修理業等） 3. 自由業（弁護士、開業医、芸術家等）
家族従業者	4. 農林漁業（農業、林業、畜産業、漁業等の自営主） 5. 商工サービス業（商店、飲食店、理髪店、修理業等） 6. 自由業（弁護士、開業医、芸術家等）
勤務者	7. 管理職（民間会社・団体・官公庁の課長級以上、大学の講師以上、学校の教頭以上） 8. 専門・技術職（技術研究員、勤務医師、看護師、教員、保育士、美容師等） 9. 事務職（一般事務員、営業員） 10. 労務職（一般工員、建築作業員、運転手等） 11. 販売・サービス業
無職	12. 専業主婦・専業主夫 13. 学生 14. その他の無職（年金、金利生活者等） 15. その他（1～14 に該当しない方は具体的に： ）

※問 15 から問 17 は有職者の方（問 14 で「1～11」を選択した方）にうかがいます。

問 15 あなたの勤務先はどちらですか。(1 つに○)

- | | | |
|------------------|---------|--------|
| 1. 香取市内 | 3. 茨城県内 | 5. その他 |
| 2. 千葉県内（香取市内を除く） | 4. 東京都内 | |

問 16 あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。(①～③それぞれ1つに○)

	取りやすい	どちらかといえば取りやすい	どちらかといえば取りにくい	取りにくい	どちらかといえばない	利用できる制度がない	わからない
①有給休暇	1	2	3	4	5	6	7
②育児休業	1	2	3	4	5	6	7
③介護休業	1	2	3	4	5	6	7

問 17 あなたは機会があれば、管理職になりたいですか。(1つに○)

1. なりたい	4. どちらでもよい
2. なりたくない	5. 考えたことがない
3. すでに管理職である	6. その他 ()

※問 18～問 19-2は現在働いていない方(問 14で「12～15」を選択した方)にうかがいます。

問 18 あなたが現在、働いていない最も大きな理由は何ですか。(1つに○)

1. 経済的に働く必要がないから	7. 年齢面の制約のため
2. 家事との両立が困難だから	8. 健康面の理由から
3. 子育てとの両立が困難だから	9. 配偶者(パートナー)等家族が望まないから
4. 介護との両立が困難だから	10. 家事や子育て、介護に専念したいから
5. 希望する勤務条件(時間、場所、給与等)の仕事がなかったから	11. 定年退職したから
6. 希望している仕事が見つからないから	12. 特に理由はない
	13. その他 ()

問 19 あなたは、今後職業に就きたいと思いますか。(1つに○)

1. すぐにでも働きたい	3. 働くつもりはない
2. 将来は働きたい	4. わからない

※問 19で「1」または「2」を選択した方にうかがいます。

問 19-1 今後どのような形で働きたいですか。(1つに○)

1. 常勤(フルタイム)	4. 自ら事業経営
2. パートタイム、アルバイト、嘱託その他	5. 家業の手伝い
3. 在宅勤務	6. その他 ()

※問 19 で「1」または「2」を選択した方にうかがいます。

問 19-2 仕事を始めるにあたって、どのようなものが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 資格や免許の取得	8. 子育ての支援体制
2. 技能や専門知識の習得	(保育施設の充実や保育時間の延長等)
3. 資金	9. 介護支援体制
4. 就業に関する情報	(介護施設やホームヘルパーの充実等)
5. 働くための様々な相談に一元的に応じてくれる窓口	10. 在宅勤務やフレックスタイム制度等、柔軟な勤務制度
6. 採用の年齢制限の撤廃または緩和	11. 特に何もない
7. 配偶者(パートナー)等家族や周囲の理解・協力	12. その他()

※すべての方にうかがいます。

問 20 ご自身と配偶者の働き方について、理想と現実はどうですか。①～④について、それぞれ下の選択肢から1つ選び、番号を記入してください。

※結婚されていない方は、将来結婚した時のことを想定してお答えください。

(①～④それぞれ1つずつ番号を記入)

①あなた自身の働き方の理想		1. 結婚、子どもの有無に関わらず働き続ける
②あなた自身の働き方の現実		2. 結婚を機に仕事をやめる
③あなたの配偶者に望む理想的な働き方		3. 子どもが生まれるのを機に仕事をやめる
④あなたの配偶者の働き方の現実		4. 介護を機に仕事をやめる
		5. 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後フルタイムで働く
		6. 育児・介護等で一時仕事をやめるが、その後短時間勤務で働く
		7. 就職しない
		8. その他

問 21 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 代替要員の確保等、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること
2. 育児・介護休業中の賃金や手当等の経済的支援を充実すること
3. 地域の保育所や学童保育の整備、保育時間の延長等保育内容を充実すること
4. 職場内に保育施設を整備すること
5. 在宅勤務やフレックスタイム制度等、柔軟な勤務制度を導入すること
6. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
7. 子育てや介護等を理由に退職した者をもとの職場で再雇用する制度を導入すること
8. 男性中心の職場運営を見直すこと
9. 賃金や昇進等の男女間格差をなくすこと
10. パートタイマー等非正規社員の労働条件を改善すること
11. 職業上、必要な教育・訓練等の機会や内容を充実すること
12. 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること
13. わからない
14. その他 ()

問 22 あなたは、政治・経済・地域等の各分野で女性のリーダーを増やすときに障がいとなるものは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 現時点では、必要な知識や経験等を持つ女性が少ないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性のリーダーを希望しないこと
4. 長時間労働の改善が十分ではないこと
5. 企業等においては、管理職になると広域異動が増えること
6. 家事・育児・介護等における夫や家族の支援が十分ではないこと
7. 育児・介護の支援等の公的サービスが十分ではないこと
8. その他 ()
9. 特にない
10. わからない

問 23 あなたは、女性の活躍推進の取り組みに関する情報のうち、どの情報が特に必要になると感じますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 保育所や幼稚園に関する情報（場所、保育料等）
2. 放課後児童クラブに関する情報（場所、利用料等）
3. 介護・家事の支援サービスに関する情報（内容、利用方法等）
4. 就職・再就職のための職業訓練に関する情報（利用方法、相談先等）
5. 起業・NPO活動のための情報（支援内容、相談先等）
6. 仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報（内容、利用方法等）
7. 出産・育児等を経ながら就業を継続している女性のモデル事例に関する情報
8. 積極的に家事・育児に参画する男性のモデル事例に関する情報
9. ワーク・ライフ・バランスの推進や、働き方の見直しの実践例に関する情報
10. その他（ ）
11. 特にない
12. わからない

少子・高齢化についてうかがいます

問 24 出生率が低下している原因は何だと思いますか。（3つまで○）

1. 子育てに経費がかかりすぎる
2. 子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み（雇用条件・保育等）が整っていない
3. 医療体制（産科・小児科等）が整っていない
4. 女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した
5. 子どもは少なく産んで、十分手をかけて育てたいという人が増えた
6. 子どもより仕事や余暇等を充実したいと考える人が増えた
7. 結婚しない人が増えた
8. 出産・子育てに対する男性（夫）の理解・協力が足りず、女性（妻）の精神的・肉体的負担が大きい
9. 住宅事情が悪い
10. 楽をしたい、子育てが面倒という人が増えた
11. その他（ ）

問 25 未婚率が上昇している原因は何だと思いますか。(3つまで○)

1. 収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから
2. 結婚後も女性が働き続けられる環境が整っていないから
3. 結婚すると家事等の家庭責任を担わないといけないから
4. 結婚の必要性を感じない人が増えたから
5. 異性とうまくコミュニケーションをとることができない人が増えたから
6. 自由や気楽さを失いたくないという人が増えたから
7. 異性と出会えるような機会が少ないから
8. 結婚相手に対する理想が高すぎるから
9. 親や世間が結婚することを強く勧めなくなったから
10. 事実婚等、結婚以外の形態を選択する人が増えたから
11. その他 ()

問 26 あなたが、ご自分の老後について、不安に思うことは何ですか。(3つまで○)

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1. 働きたくても仕事がないこと | 7. 生活費のこと |
| 2. 配偶者（パートナー）に先立たれること | 8. 健康のこと |
| 3. 子どもが世話してくれるかどうかわからないこと | 9. 住居のこと |
| 4. 適当な話し相手がいらないこと | 10. 特に不安はない |
| 5. 適当な趣味がないこと | 11. 考えたことはない |
| 6. 介護してくれる人がいるかどうかわからないこと | 12. その他 () |

人権に関することについてうかがいます

問 27 次のようなことが配偶者（事実婚や別居中を含む）や恋人同士の間で行われた場合、それを暴力であると思いますか。（①～⑬それぞれ1つに○）

	も ど ん な 場 合 で 暴 力 に あ た る	合 そ う で な い 場 合 と あ る	暴 力 の 場 合 と は 思 わ な い
①平手で打つ、なぐる、足で蹴る	1	2	3
②なぐるふりや刃物でおどす	1	2	3
③嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
④大声でどなる	1	2	3
⑤職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
⑥「誰のおかげで生活できるんだ」や、「かいしょうなし」と言う	1	2	3
⑦子どもの前で暴力をふるう	1	2	3
⑧子どもを危険な目に遭わせる	1	2	3
⑨交友関係や行き先、電話・メール等を細かく監視する	1	2	3
⑩家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
⑪家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
⑫他の異性との会話をさせない	1	2	3
⑬何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3

問 28 あなたは、これまでに配偶者や恋人等親密な関係にあるパートナーから、次のようなことをされたことがありますか。（①～⑬それぞれ1つに○）

	あ る	あ る 何 回 か	な い
①平手で打つ、なぐる、足で蹴る	1	2	3
②なぐるふりや刃物でおどす	1	2	3
③嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
④大声でどなる	1	2	3
⑤職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1	2	3
⑥「誰のおかげで生活できるんだ」や、「かいしょうなし」と言う	1	2	3
⑦子どもの前で暴力をふるう	1	2	3
⑧子どもを危険な目に遭わせる	1	2	3
⑨交友関係や行き先、電話・メール等を細かく監視する	1	2	3
⑩家計に必要な生活費を渡さない	1	2	3
⑪家族や友人との関わりを持たせない	1	2	3
⑫他の異性との会話をさせない	1	2	3
⑬何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3

※問 28 で「1. ある」「2. 何回かある」を1つ以上選択した方にうかがいます。

問 28-1 あなたは、その時誰かに相談しましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 相談した | 3. 相談しようとは思わなかった |
| 2. 相談したかったが、しなかった | 4. 相談できなかった |

※問 28-1 で「1. 相談した」を選択した方にうかがいます。

問 28-2 あなたが相談した人(場所)を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 家族・親せき | 5. 県の相談機関 | 9. 医師 |
| 2. 友人・知人 | (千葉県女性サポートセンター等) | 10. 民間の相談機関 |
| 3. 警察(相談窓口・相談サポートコーナー) | 6. 国の相談窓口
(女性の人権ホットライン等) | 11. その他
() |
| 4. 市役所の相談窓口・電話相談等 | 7. その他の公的機関 | |
| | 8. 弁護士 | |

※問 28-1 で「2～4」を選択した方にうかがいます。

問 28-3 相談しなかった・できなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. どこに相談してよいかわからなかった | 6. 世間体が気になるからできなかった |
| 2. 相談できる人がいない | 7. 相談するほどでもないと思った |
| 3. 相談するのがいやだった | 8. 他人を巻き込みたくないと思った |
| 4. 相談しても無駄だと思った | 9. その他 |
| 5. がまんできるといった | () |

※すべての方にうかがいます。

問 29 男女間における暴力に関する次のような相談窓口について、あなたが知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 市役所の相談窓口・電話相談等 | 7. 千葉県弁護士会 |
| 2. 警察(相談窓口・相談サポートコーナー) | 8. 法テラス千葉 |
| 3. 香取健康福祉センター | 9. DV被害者支援活動促進のための基金 |
| 4. 中核地域生活支援センター
香取ネットワーク | 10. ファミリーセンター ヴィオラ |
| 5. 千葉県女性サポートセンター | 11. CTICちば |
| 6. ちば県民共生センター | 12. Hand-in-hand ちば |
| | 13. その他() |
| | 14. 知っているものはない |

問 30 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う
2. 学校・大学で生徒・学生に対し、暴力を防止するための教育を行う
3. 地域で、暴力を防止するための研修会、イベント等を行う
4. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う
5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
6. 被害者を発見しやすい立場にある警察や医療関係者等に対し、研修や啓発を行う
7. 暴力を振るったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う研修や啓発を行う
8. 加害者への罰則を強化する
9. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピュータソフト等）を取り締まる
10. その他（ ）
11. 特にない

男女平等推進の施策についてうかがいます

問 31 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 男女共同参画社会基本法 | 10. 女性活躍推進法 |
| 2. 男女雇用機会均等法 | 11. 政治の分野における男女共同参画 |
| 3. 女子差別撤廃条約 | 12. えりぼし認定 |
| 4. ポジティブ・アクション（積極的改善措置） | 13. くるみん認定 |
| 5. ジェンダー（社会的・文化的に作られた性別） | 14. L G B T |
| 6. ワーク・ライフ・バランス | 15. S O G I |
| 7. セクシュアル・ハラスメント | 16. 同性パートナーシップ制度 |
| 8. マタニティ・ハラスメント | 17. 見たり聞いたりしたものはない |
| 9. 配偶者等からの暴力（DV） | 18. わからない |

問 32 あらゆる人がお互いを認め合いながら、その個性と能力を発揮し、喜びも責任も分かち合うことができる社会の実現のために、あなたは市が今後どのようなことに力を入れていったらよいと思いますか。（3つまで○）

1. 市の各種審議会の委員等、市の施策決定の場に女性を多く選任する
2. 学校教育の中で、男女平等や男女共同参画についての教育を進める
3. 働く場での男女格差をなくすよう企業等に対して働きかける
4. 保育や介護サービスを充実させて、女性も男性も安心して働けるようにする
5. 男性も生活者として自立できるような啓発活動を行う
6. 母子・父子世帯等の生活の安定を図る
7. 健康対策や母性保護対策を進める
8. 女性のための各種相談業務を充実させる
9. 女性の就業機会を増やす職業支援として、訓練やセミナーを実施する
10. 女性の自立を目指す学級や講座の拡充、情報提供等の生涯学習を推進する
11. 各種活動のリーダーとなる女性を養成する
12. 男女共同参画について理解を広める啓発活動を推進する
13. 同性パートナーシップ制度等の性的少数者に対する施策を推進する
14. 男女共同参画に取り組んでいる企業に対する支援を充実させる
15. 外国人のための各種相談業務を充実させる
16. その他（ ）
17. わからない

社会活動等への参画についてうかがいます

問 33 たとえば企業・行政等の管理職や審議委員会等、女性があまり進出していない分野で、女性の登用を計画的に進めていくこと等をポジティブ・アクション（積極的改善措置）といいます。これは、様々な分野における活動に参画する機会の男女間の格差を改善するために、必要な範囲内で、男女のうちいずれか一方に対し、その機会を積極的に提供することです。このような取り組みを行なうことについてどのように思いますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. 賛成する | 3. どちらかといえば反対する | 5. どちらともいえない |
| 2. どちらかといえば賛成する | 4. 反対する | 6. わからない |

問 34 香取市では、審議会、委員会等の女性委員は413人中82人（19.9%）となっています（平成30年4月1日現在）。あなたは、この状況をどのように思いますか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 今のままでよい | 4. 男性を上回るほど、女性が増えた方がよい |
| 2. もう少し女性が増えた方がよい | 5. どちらともいえない |
| 3. 男女半々くらいになった方がよい | 6. わからない |

問 35 次にあげる地域活動の中で、あなたが「現在、企画から実行までの一連の取り組み（参画）をしているもの」と「今後参画してみたい地域活動、または引き続き参画したい地域活動」はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

	現在参画している活動	今後参画したい活動
①趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動	1	2
②町内会・自治会、高齢者クラブ等に関する活動	1	2
③保育園・学校等の保護者会・PTA活動、子ども育成会活動	1	2
④青少年健全育成に関する活動	1	2
⑤男女平等や女性問題について学習する会等男女共同参画に関する活動	1	2
⑥消費者問題に関する活動（生協のリーダー等）	1	2
⑦社会福祉分野での活動	1	2
⑧保健・衛生・医療分野での活動	1	2
⑨自然保護・公害防止等、環境問題に関する活動	1	2
⑩国際交流・国際協力・国際平和に関する活動	1	2
⑪性的少数者に関する活動	1	2
⑫その他	1	2
⑬いずれもない	1	2

最後に、あらゆる人が社会に参画し、いきいきと暮らせる香取市となるためにご意見がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。以上で質問は終了です。

お手数ですが、同封の返信用封筒にて**6月14日(金)**までにポストにご投函ください。